

複数の教員で関わり 児童一人ひとりに確かな学力を

—小学校における授業交換による教科担任制のすすめ—

山口県教育庁義務教育課

山口県教育委員会では、一人ひとりの児童の学力の向上と、教員の授業力の一層の向上をめざし、1学年が複数学級ある小学校において、授業交換の実施を進めています。効果的な実施に向けて、計画的かつ積極的な取組をお願いします。

期待される効果

○教材研究の充実による、よりよい授業の実現

- ・担当する授業の教材研究に多くの時間を充てることができ、さらに一つの指導案をもとに、反省を生かしながら複数回の授業を行うことができるため、よりよい授業を実現することが期待できます。

○複数の教員による多面的な児童理解に基づく組織的な指導の充実

- ・多くの教員が児童に関わることで、児童のよさや課題を多面的にとらえることができ、一人ひとりに応じた効果的な指導を通して、自信や自己肯定感を育むことが期待できます。

○学級経営の充実

- ・学習規律や教室経営など、他の学級の取組を自分の学級経営に生かすことができます。

互いの学級や児童の様子を知ることで、複数の教員で児童を育てる意識が高まり、教員同士が連携して取り組む組織力の向上が期待できます。



児童が学級担任以外の授業を経験することで、中学校の教科担任制へのスムーズな移行も期待できます。

効果的な実施に向けて

- 高学年に複数の学級がある学校は、国語、社会、算数、理科の4教科のうち2教科以上で授業交換を行う。
- 実施する時期や期間、担当教科等を決め、時期によって担当教科を変更するなどの工夫を行う。
- 年間指導計画や行事予定を見て、効果的な授業交換の取組となるよう計画的に実施する。



学年が単学級の学校でも、隣接学年等での授業交換に取り組むことによって、教科の系統性を意識した指導の充実や、多面的な児童理解ができ、児童の自信や自己肯定感を育むことが期待できます。

授業交換による教科担任制とは：1年間の中で、実施する時期や単元などを決め、日課表に位置付けて計画的に授業交換を実施することです。